



合志の旋風 ～自律協働貢献～

令和8年9月11日（金）No 18 発行
文責：松本 卓也

君はなぜ働くのか ～2年生職場体験学習～

8日（火）から10日（木）までの3日間、2年生が職場体験学習を行いました。子どもたちが直接働く人と接したり、実際に使われている知識や技術・技能に触れたりすることを通して、学ぶことや働くことの意義を理解し、望ましい勤労観、職業観を育むことが目的です。子どもたちの感想を一部紹介します。

- 自分が作ったパンがしっかり売れて、嬉しかったです
- 自ら率先して動いたり、片付けたりと、幼稚園で学べることが沢山あった
- 仕事の楽しさや大変さを学ぶことができた

君はなぜ働くのか

あなたにとって、本音に大切なことは何ですか。
永松茂久 400
やりたいことがわからない？
良かったじゃないか。

子どもたちは、自分の適性や興味・関心をもとに選択した事業所で、実際に仕事を体験し、働くことの厳しさや喜びなどを身をもって体験していました。

「人は話し方が9割」の著者で、自身の経験をもとに体系化した「今いる人間を一流にする」という人材育成法で多くの講演、セミナーを実施されている永松茂久氏は、著書「君はなぜ働くのか」の中で、「働く上で、夢よりも大切なものが『なぜ』である。『なぜ働くのか？』この問いの答え（意味）が見えたとき、人は必ず動き始める。今、『何のために働いているんですか？』と聞かれたら、あなたは何と答えるだろうか？」と問い掛けています。

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくために、「私はなぜ働くのか？」を一人一人が考えてほしいと思います。受け入れていただいた事業所の皆様方、子どもたちは素晴らしい体験をすることができました。大変お世話になりました。



教師修養 Part3 ～研究授業～

2日（水）、1年1組（英語）、2組（社会）で研究授業を行いました。4月に実施した「全国および合志市学力・学習状況調査」で明らかになった課題を改善するために、英語では、研究の視点③の「振り返り」と「まとめ」の充実に、社会では研究の視点②の対話的な学びの充実にこだわって授業を構成しました。参観者からは、「『振り返り』の視点の工夫など、きめ細やかな手立てや指導が大変勉強になった（英語）」「面白くて、考えたいような発問で、自分の意見も言いたい！聞いてほしい！という気持ちになった（社会）」等の声が挙がりました。子どもたちからも、「s と es のところがよくわかった。いろいろと不規則に変化するのもあるので、気をつけていこうと思った（英語）」「AI を使ったところがわかりやすかった。卑弥呼にあいさつしたところが印象に残った（社会）」との感想が聞かれました。

「主体的・対話的で深い学び」を確かなものにするために、さらに授業改善を進めてまいります。主体的に授業を引き受けた主幹教諭の T 先生、研究主任の M 先生、ありがとうございました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）